

あけましておめでとうございます。今年も子どもたちが健康に過ごせるように、ほけんだよりを通して保健情報や、保健に関する連絡事項などをお伝えしていきます。本年も宜しくお願いいたします。



咳エチケットのお話をしました (にじ・そら・そよかぜつばさ)

コロナウイルスの流行が長引いていますが、今後もしばらくwithコロナの生活が続きそうですね…。大人だけでなく、子ども自身も自分の身体を守るためにできる予防をしてもらう必要があります。12月に、にじぐみさん以上のクラスへ咳エチケットや感染対策のお話をしました。今回はばい菌のイラストがついたリボンを用いて、ばい菌の飛沫距離をみてもらいました。子どもたちにリボンをもつ手伝いをしてもらったのでみんな興味津々に見ていました。会話・咳・くしゃみのそれぞれ1m・3~5m飛沫距離を知ると「そんなにとぶのー！」と驚いていましたよ。

今回お話しした内容は

- ・咳やくしゃみをするときは腕で口を押える
 - ・鼻水はかんで手で拭かずティッシュで拭く
 - ・手を洗うときは必ず石鹸を使う！
 - ・うがいはしっかり！水を口から出すときはゆっくりと
 - ・給食の時は大声や歌うことはしない
- などを伝えました。

コドモンでもお知らせしましたが、習慣になるようお家でもお声掛けのご協力をしていただくようお願いいたします。わかば・おひさまぐみさんも年齢に応じてできることをお家や園で声掛けしていきましょう。

1月20日は内科健診です

市森クリニックさんが14時からしてくださいます。当日はできる限り出席をお願いします。また近くなりましたら医師への質問などのアンケートをとらせていただきますね。

じょうずに鼻をかみましょう

鼻水を手で拭く園児さんをよく見かけますが、その手から色んな所にウイルスが付着し、集団感染の原因にもなります。早い子では2歳前頃から上手に鼻水をかめるようになります。鼻水をすすったり、上手に出せないと回復を遅らせたり、中耳炎・副鼻腔炎になることもあります。お家でもティッシュで『鼻をかむ』ことを、声掛けしていただき上手にかめるようになりましょう。今回は、鼻をかむ練習方法の一つをお伝えします。

<机に丸めたティッシュを何個か準備する>

1. 口から息を吸い 口をしっかりと閉じる
2. 片方の鼻の穴を指で押さえる
3. もう片方の鼻の穴から『フンツ』と鼻息を出し、丸めたティッシュを鼻息で飛ばしてみる



登園許可書・登園届について

今年度はコロナもあり感染対策をお家や園でも徹底している効果か、当園の感染症発生はとても少ない状況です。しかし、昨年度は当園でインフルエンザが流行したのは年明けからでした。今後様々な感染症が流行する時期となります。昨年度と違い、登園許可書が必要な感染症は医師に記入してもらう必要があります。基本的には診断時ではなく症状が落ち着いてから再受診し医師に登園許可日を記入してもらってください。(インフルエンザに関しては、すぐに解熱・症状消失すれば、診断時に登園許可日を記入してもらっても構いません。しかし指示通りに症状が経過しなかった場合は再受診して再度記入してもらってください)

年度初めにお渡しした登園許可書・登園届はコピーをしてお使いください。当園のホームページからも印刷できます。登園届は保護者の方記入で構いません。書類が必要な感染症の診断があればどちらに記入する必要があるか再度ご確認をお願いいたします。